令和７年度「いわて新農業人チャレンジファーム」が 20 名の受講生とともにスタート！

令和７年４月 18 日（金）、盛岡市の岩手県高校教育会館にて、令和７年度「いわて新農業人チャレンジファーム」入講式を挙行しました。

本年度は、20 代から 60 代までの 20 名（金曜日コース、土曜日コースともに 10 名）の受講生を県内広域から迎え、各受講生の「農」の夢に向かい今年度の研修がスタートしました。

「いわて新農業人チャレンジファーム」は、多様な形で本県農業に関わりたい方を対象に、野菜栽培や農業機械の操作など、農業の基礎を学ぶ研修として当公社が令和２年度から開講しています。

入講式に引き続き第１回研修を行い、岩手県農林水産部農業普及技術課の佐々木技師を外部講師としてお招きし、「岩手の農業」について、本県農業の概要や目指す姿、取組事例等をご説明いただきました。

休憩を挟み、第１回研修後にはオリエンテーションを行い、担当職員から研修の概要や留意点等の説明と担当職員及び受講生からの自己紹介を行いました。

受講生からは、「農業を基礎から勉強したい。」、「口にするものを実際に自分で作りたい。」、「移住をきっかけに農業を勉強したい。」など、目標や夢はさまざまであり、受講生の皆さんから、農業に対する意欲が感じられました。

第２回研修は、令和７年４月 25 日（金）、26 日（土）に雫石町南畑コテージむらで、講義は「農業の用語・単位」、実習では「農具の使い方」、「じゃがいもの植付け」等を行う予定です。

入講式の様子

第１回研修「岩手の農業」の様子

熱心に講義を聞く受講生

オリエンテーションにおいて自己紹介をする受講生